



Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)
 Cコース毎月決算型(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型
 Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型
 追加型投信／海外／株式

2019年10月



『持続的な成長企業』に投資する米国成長株投信

平素は「アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。本レポートでは、当ファンドの投資方針が実際どのように銘柄選択に生かされているかを中心に解説しています。今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<本レポートの概要>

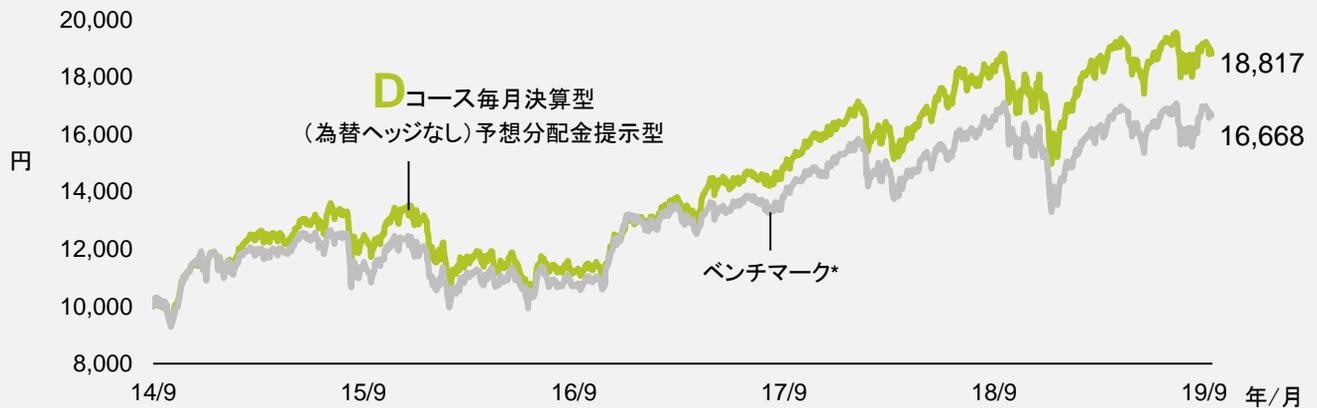
- + 当ファンドは、外部環境に左右されない『持続的な成長企業』に厳選投資を行います。実際に当ファンドが投資する企業、投資しない企業を例にご説明します
- + 当ファンドの投資方針に基づいて厳選して構築されたポートフォリオは、持続的に高い利益成長を確保しています
- + 米国経済の今後の見通しと当ファンドの投資方針について最高投資責任者フランク・カルーソが解説します

Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型のパフォーマンス推移

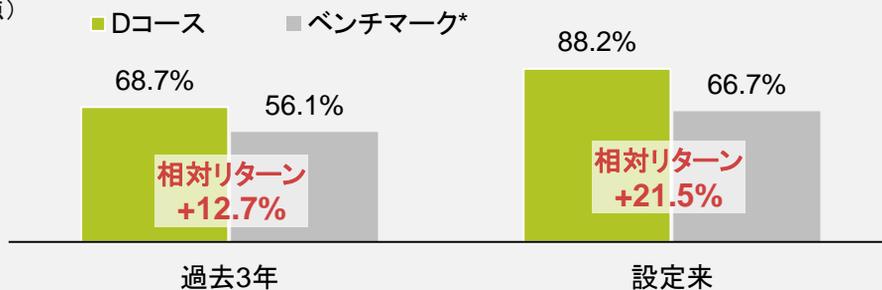
Dコースのリターンは過去3年、設定来で見ても、ベンチマークであるS&P 500株価指数を上回り好調に推移しています。

【設定来の基準価額の推移および騰落率(分配金(課税前)再投資)】

(期間: Dコース設定来(2014年9月16日) - 2019年9月30日)



(2019年9月30日時点)



※アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信の4つのコースを合わせて当ファンド、各コースをそれぞれAコース、Bコース、Cコース、Dコースという場合があります。アライアンス・バーンスタイン(AB)は、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。アライアンス・バーンスタイン株式会社はABの日本拠点です。

過去の分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。ここでは、当ファンド4コースのうちで純資産残高が一番多い(2019年9月末時点)Dコースを記載しています。※基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。基準価額(分配金(課税前)再投資)は、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮していませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。*ベンチマークはS&P 500株価指数(配当金込み)、円ベース。

出所: AB

当ファンドが投資する『持続的な成長企業』とは？

当ファンドでは徹底的なリサーチにより、外部環境がどのように変化しても『持続的に成長』する企業を見つけ出し、厳選して投資します。

当ファンドが定義する『持続的な成長企業』とは・・・
利益を将来の為に再投入し、外部環境に左右されにくく、長期にわたって安定成長できる卓越したビジネスを持つ企業を言います

高い収益性の持続力

独自のビジネスモデル、参入障壁の高い市場で圧倒的シェア、経営陣が優秀な企業は、安定的、持続的な利益成長が期待できると言えます

<代表的な指標例> 高い総資産利益率 (ROA) の持続

高い投資効率

投資した資本に対して利益率が高い企業は、合理的な収益構造を持ち競争力があると云えます

<代表的な指標例> 高い投下資本利益率 (ROIC)



強固な財務体質

負債の割合が少ない健全な財務体質の企業は、より資本市場の影響を受けにくいと言えます

<代表的な指標例> 資本に対する負債の割合が低い

一時的な成長ではなく
長期で持続的に成長する仕組みが備わっているかどうかを見極めます

当ファンドの保有銘柄事例

当ファンドが厳選する約50銘柄のうちのいくつかを例に、『持続的な成長企業』に投資するという投資方針が実際どのように銘柄選択に生かされているかをご紹介します。



欧米を中心に若者向けエナジードリンク・ブランドを確立 モンスター・ビバレッジ(生活必需品/エナジー・ドリンク)

- ✓ 独自のマーケティング戦略で若者を中心に新たなブランド価値を確立
- ✓ 主要市場である米国、およびグローバル市場でのエナジードリンク消費拡大期待と、コカ・コーラのグローバル販売網を通じた拡販や新規ブランドの開発ならびに市場の開拓

指標を見るときのポイント！

高ければ高いほど良い！
高い利益を出していることを意味します

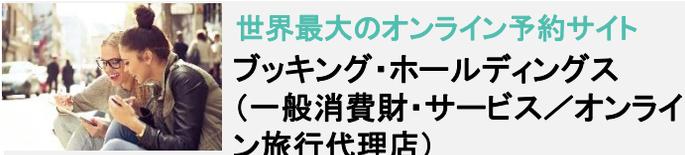
高ければ高いほど良い！
投資した分の利益の回収率が高いことを意味します

借金の割合なので低いほうが良い！
0またはマイナスは実質無借金を意味します



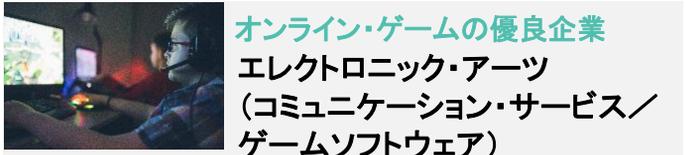
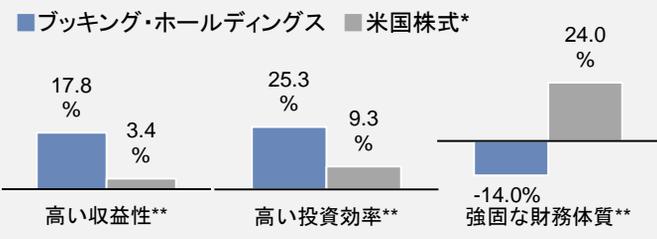
過去の分析は将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。上記の個別の銘柄・企業については、成長株式の参考例として説明したものであり、ファンドに組み入れられる銘柄を示唆するものではありません。ABはこれらの銘柄を推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。*米国株式はS&P 500株価指数。**すべて2019年6月末時点の数値。高い収益性はROA(総資産利益率)、高い投資効率はROIC(投下資本利益率)、強固な財務体質は純負債比率。上記はあくまで例示目的であり、実際の運用は上記の指標のみを元にするものではありません。出所: ブルームバーグ、AB

当ファンドの保有銘柄事例(つづき)



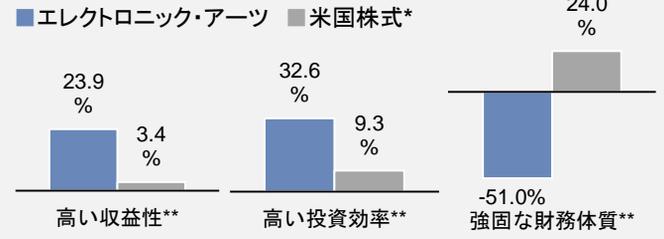
**世界最大のオンライン予約サイト
ブッキング・ホールディングス
(一般消費財・サービス/オンライン
旅行代理店)**

- Booking.comなど、世界のホテル/レストランなどのオンライン予約アプリで強力なブランド力
- 予約の手段が店頭/電話からオンラインに変わるなか、民泊も含め体験型消費のニーズは拡大



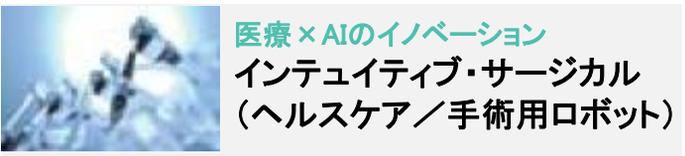
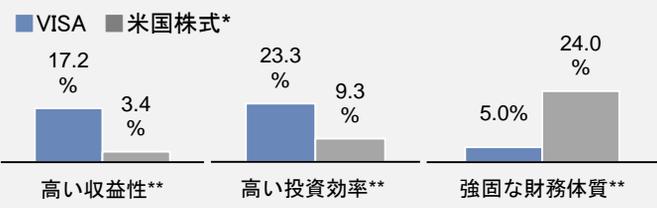
**オンライン・ゲームの優良企業
エレクトロニック・アーツ
(コミュニケーション・サービス/
ゲームソフトウェア)**

- Apex Legendsなどの配信用バトルロイヤルゲームの売上好調による収益拡大
- サブスクリプション(継続課金)ビジネスの成長とモバイルゲーム市場での収益期待



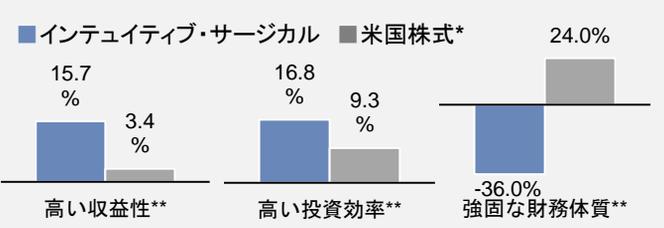
**超強力なブランドを持つ優良企業
VISA
(情報技術/決済ネットワーク)**

- 参入障壁が高い市場で圧倒的シェア。ビジネスモデルの確立により設備投資がほぼ不要
- 新興国を含む世界的な電子決済需要増加による持続的成長



**医療×AIのイノベーション
インテュイティブ・サージカル
(ヘルスケア/手術用ロボット)**

- 手術支援ロボット「ダヴィンチ」を開発。革新的技術により同分野で世界的に独占的なポジション
- グローバル市場での拡大のポテンシャル

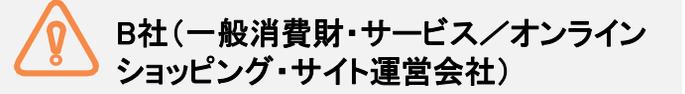
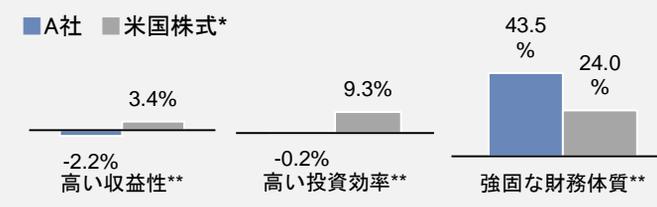


一方、当ファンドが投資しない企業とは？

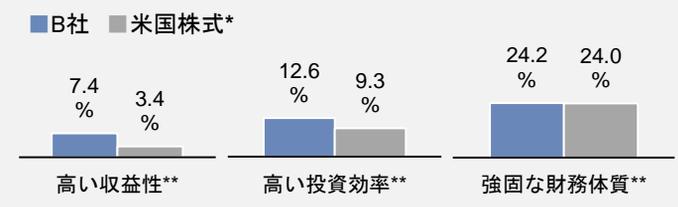
一般的に高い成長が期待されている企業でも、当ファンドが定義する『持続的な成長』に当てはまらなると判断する企業には投資を行っていません。以下はその一例です。



- EV(電気自動車)の販売台数で世界的シェア
- EV市場の競争激化、また多額の赤字により財務体質が悪化



- 独自の物流網を強みに無二のブランドを確立
- eコマース事業での巨額投資が先行し、その他の利益が希薄化

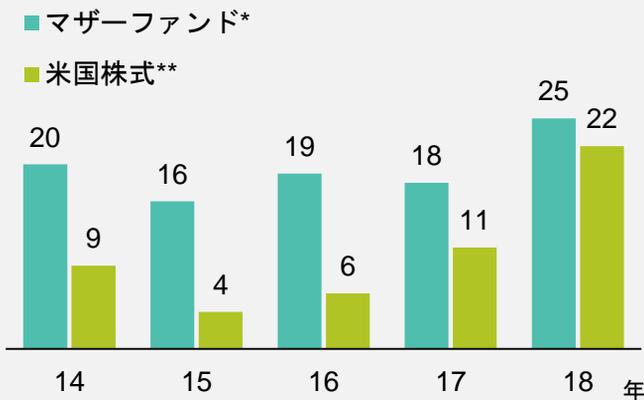


過去の分析は将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。上記の個別の銘柄・企業については、成長株式の参考例として説明したものであり、ファンドに組み入れられる銘柄を示唆するものではありません。ABはこれらの銘柄を推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。*米国株式はS&P 500株価指数。**すべて2019年6月末時点の数値。高い収益性はROA(総資産利益率)、高い投資効率はROIC(投下資本利益率)、強固な財務体質は純負債比率。上記はあくまで例示目的であり、実際の運用は上記の指標のみを元にするものではありません。出所: ブルームバーグ、AB 3

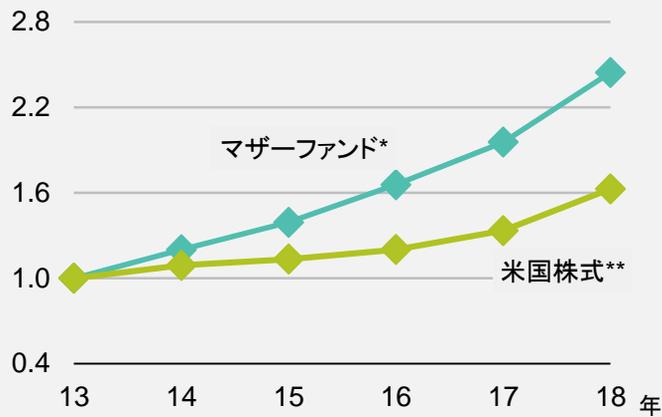
厳選して構築されたポートフォリオは持続的に高い利益成長を確保

そうして構築されたポートフォリオでは、外部環境によらず高い利益成長を持続することができ、長期的な成長力は大きな差となって表れると考えています。

マザーファンドの1株当たり利益(EPS)成長率(前年比、%)



マザーファンドの1株当たり利益の推移



米国経済の今後の見通しと当ファンドの投資方針について

アライアンス・バーンスタイン米国成長株式運用 最高投資責任者のフランク・カルーンが、米国経済の今後について解説します。

米国成長株式運用 最高投資責任者
フランク・カルーン



米国経済は、個人部門は堅調な消費や雇用に支えられている一方、企業部門は設備投資や在庫投資、輸出に陰りが見えており、全体としては緩やかな減速を続けています。当面は、製造業における景況感の悪化が、比較的堅調なサービス業へ伝播し、個人消費へ影響を与える可能性について注意深く見守る必要があります。

一方で、2021年度まで財政拡張が続くこと、家計部門が債務超過にないこと、また、景気後退を誘発する景気過熱がみられないことから、今後も米国経済は深刻な景気後退までには陥らず底堅く推移するとみています。

そうした中、米国株式市場は、米中貿易摩擦など外部環境の動向により時折変動性が高まる局面も想定されるものの、中期的には企業業績の拡大に沿ったかたちで推移すると考えています。

米国経済をけん引するのは、引き続き、テクノロジーの進化がもたらすイノベーションやそれに伴う新たなビジネスモデルの誕生であり、それにより世界的に独占的な地位を確立する企業です。当ファンドでは、外部環境がどのように変化しても、『持続的に成長』する企業を厳選することを投資方針としています。そのような景気の変動性に左右されにくい企業は、長期で見ると成長力に大きな格差が生じることから、中長期的に非常に魅力的な投資機会となると信じています。

また、現在のような変動性の高い市場環境は、そのような『持続的な成長企業』を割安な水準で投資できる機会が増大する傾向があります。

(作成基準日のコメントであり、今後予告なしに変更することがあります。また、将来の市場環境の変動等により、今後、運用方針を変更する場合があります。)

過去の分析と現在の予測は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。見通しは今後変更されることがあります。

期間：2013年～2018年

*マザーファンドはアライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド。マザーファンドのデータは各年末時点のポートフォリオから算出。

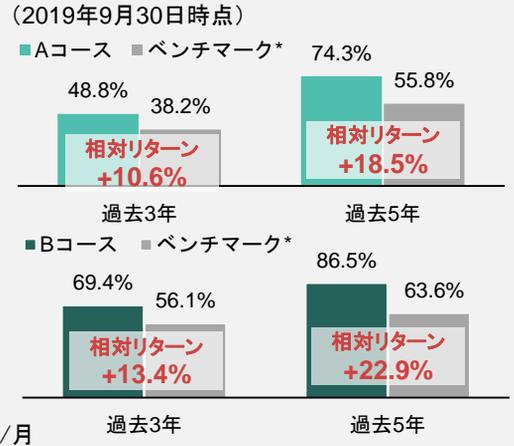
**米国株式はS&P 500株価指数。右図は2012年12月31日を1として指数化。

出所：リフィニティブ、AB

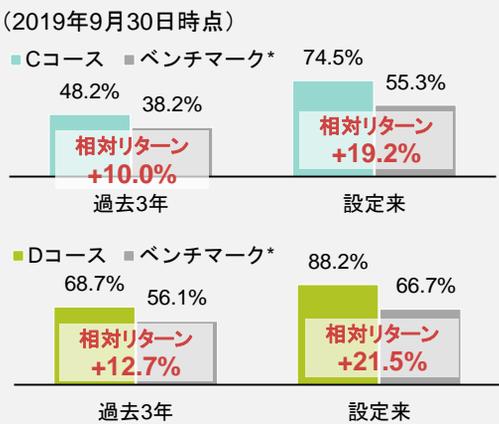
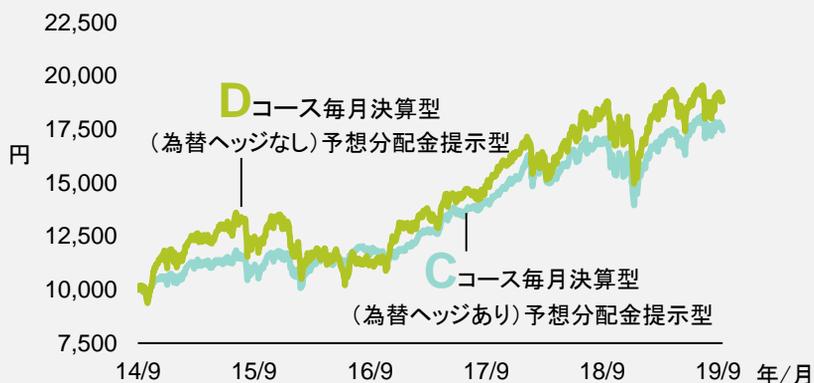
『持続的な成長企業』への投資が、4コースともに優れたパフォーマンスを実現
当ファンドのリターンは過去3年、過去5年などの中長期で見ても、ベンチマークであるS&P 500株価指数を大きく上回り推移しています。

【設定来の基準価額の推移および騰落率(分配金(課税前)再投資)】

A/Bコース (期間: 2006年5月25日 - 2019年9月30日)



C/Dコース (期間: 2014年9月16日 - 2019年9月30日)



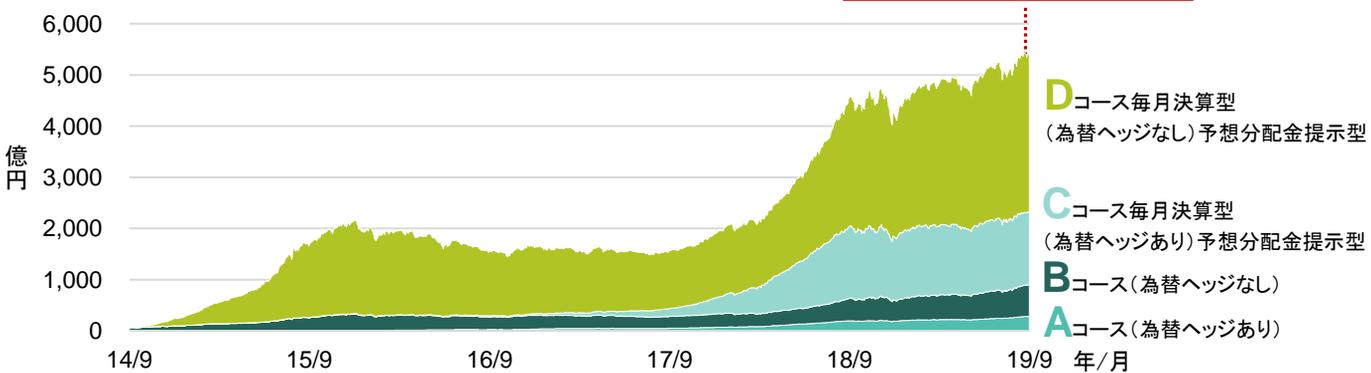
～ご参考～

🏆 おかげさまで純資産総額 **5,000** 億円を突破しました!

【直近5年間の純資産総額(4コース合計)の推移】

(期間: 2014年9月末 - 2019年9月末、日々ベース)

4コース合計の純資産総額
5,388 億円 (2019年9月末)



過去の分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。※基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。基準価額(分配金(課税前)再投資)は、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮していませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。*S&P 500株価指数(配当金込み)。Aコース/Cコースは円ヘッジベース。Bコース/Dコースは円ベース。出所: AB

～ご参考～

 **3**つの評価機関から**2**年連続でアワード受賞！



モーニングスター ファンドオブザイヤー2018

『最優秀ファンド賞』受賞
(国際株式型(グローバル・除く日本)部門)

【Bコース】
【2019年2月受賞】



LIPPER FUND AWARDS FROM REFINITIV

2019 WINNER
JAPAN

リップパー・ファンド・アワード・
フロム・リフィニティブ2019ジャパン

『最優秀ファンド賞』受賞
(投資信託／株式型 米国株(評価5年))

【Bコース】
【2019年3月受賞】



R&Iファンド大賞2019

『優秀ファンド賞』受賞
(投資信託／北米株式部門)

【BコースおよびDコース】
【2019年5月受賞】

●各アワードについて

Morningstar Award “Fund of the Year 2018” について

Morningstar Award “Fund of the Year 2018”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2018年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型(グローバル・除く日本)部門は、2018年12月末において当該部門に属するファンド926本の中から選考されました。

「リップパー・ファンド・アワード・フロム・リフィニティブ 2019ジャパン」について

「リップパー・ファンド・アワード・フロム・リフィニティブ 2019 ジャパン」の評価の基となるLipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システムのファンドに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。Lipper Leader Rating システムが分析しているのは過去のファンドのパフォーマンスであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、Lipperが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

「R&Iファンド大賞」について

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

当ファンドの分配方針

Aコース／Bコースの場合

原則として、毎決算時（毎年6月15日および12月15日。休業日の場合は翌営業日）に、以下の方針に基づき分配します。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、将来の収益分配金の支払いおよび金額について保証するものではなく、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないこともあります。

Cコース／Dコースの場合

原則として、毎決算時（毎月15日。休業日の場合は翌営業日）に、以下の方針に基づき分配します。

- 計算期末の前営業日の基準価額に応じて、以下の金額の分配を目指します。

毎計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口あたり、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上 12,000円未満	200円
12,000円以上 13,000円未満	300円
13,000円以上 14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、将来の収益分配金の支払いおよび金額について保証するものではなく、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないこともあります。
- ※ 毎計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等、基準価額水準や市場動向等によっては、委託会社の判断で上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。
- ※ 基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額が上記の一定水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。
- ※ 分配金を支払うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

当ファンドの主な投資リスク

当ファンドは、マザーファンドを通じて主として株式などの値動きのある金融商品等に投資しますので、組入れられた金融商品等の値動き（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）により基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

基準価額の変動要因

株価変動リスク

経済・政治情勢や発行企業の業績等の影響で株価が変動し、損失を被るリスクがあります。

為替変動リスク

Aコース（為替ヘッジあり）／Cコース（為替ヘッジあり）予想分配金提示型

実質外貨建資産について為替予約取引などを用いて為替変動リスクの低減を図りますが、市況動向等によっては基準価額に影響する可能性があります。また、対象通貨国と日本の金利差によっては、ヘッジコストが収益力を低下させる可能性があります。

Bコース（為替ヘッジなし）／Dコース（為替ヘッジなし）予想分配金提示型

実質外貨建資産に対し原則として為替ヘッジを行いませんので、基準価額は為替相場の変動の影響を受けます。

信用リスク

投資対象金融商品等の発行体が経営不安や倒産等に陥った場合に資金回収ができなくなるリスクや、それが予想される場合にその金融商品等の価格下落で損失を被るリスクがあります。また、金融商品等の取引相手方に債務不履行が生じた場合等には、損失を被るリスクがあります。

カントリー・リスク

発行国の政治・経済・社会情勢の変化で金融・証券市場が混乱し、金融商品等の価格が大きく変動する可能性があります。

他のベビーファンドの設定・解約等に伴う基準価額変動のリスク

当ファンドが投資対象とするマザーファンドを同じく投資対象とする他のベビーファンドでの設定・解約等に伴うマザーファンドでの組入金融商品等の売買等が生じた場合、当ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

ファンドで分配金が
支払われるイメージ

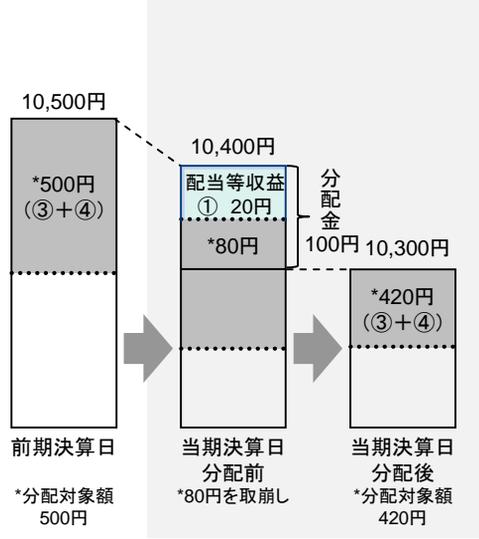
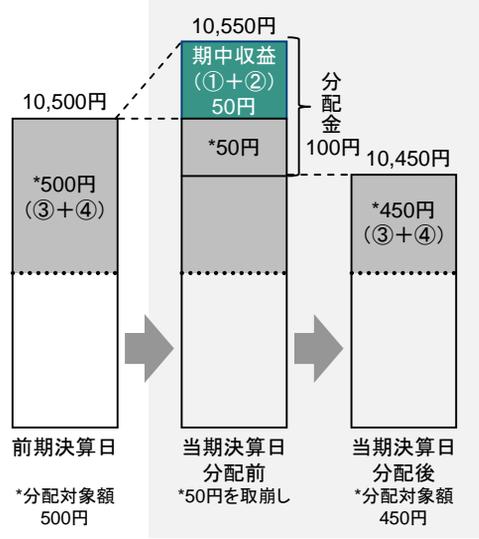


分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)

(前期決算日から基準価額が下落した場合)

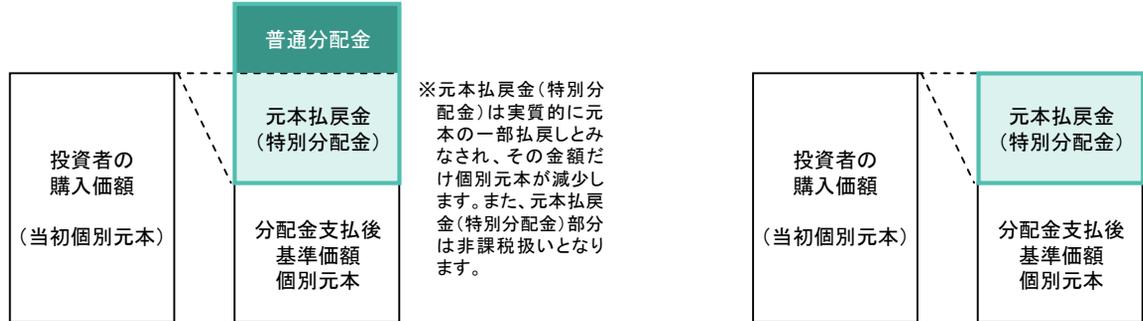


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

当資料のご利用にあたっての留意事項

- + 当ファンドは、マザーファンドを通じて主として株式などの値動きのある金融商品等に投資しますので、組み入れられた金融商品等の値動き（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）により基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。
- + 投資信託は預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。
- + 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- + 当資料は情報の提供を目的としてアライアンス・バーンスタイン株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料に掲載されている予測、見通し、見解のいずれも実現される保証はありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。
- + 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります、その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり感が小さかった場合も同様です。
- + 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- + 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社において投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受取りになり、記載事項をご確認のうえ、投資の最終決定はご自身でご判断ください。

お客様にご負担いただく費用

お客様には下記の費用の合計額をご負担いただきます。なお、下記の費用は、お客様が当ファンドを保有される期間等に応じて異なるものが含まれているため、合計額を表示することができません。

直接的にご負担いただく費用

購入時手数料 購入価額と購入口数を乗じて得た金額に、販売会社が別に定める購入時手数料率（3.30%（税抜3.00%））を上限とします。）を乗じて得た額とします。

信託財産留保額 ありません。

信託財産で間接的にご負担いただく費用

運用管理費用（信託報酬） 純資産総額に対して年1.727%（税抜年1.57%）の率を乗じて得た額とします。

※Aコース、Cコースおよびマザーファンドの投資顧問会社の報酬は、委託会社の受取る報酬の中から支払われます。※ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から支払われます。

その他の費用・手数料

●金融商品等の売買委託手数料／外貨建資産の保管等に要する費用／信託財産に関する租税／信託事務の処理に要する諸費用等

※お客様の保有期間中その都度かかります。なお、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示できません。

●監査費用／法定書類関係費用／受益権の管理事務に係る費用等

※純資産総額に対して年0.1%（税込）の率を上限として、信託財産より間接的にご負担いただく場合があります。かかる諸費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から委託会社に対して支払われます。

ファンドの主な関係法人

・委託会社
（ファンドの運用の指図を行う者）

アライアンス・バーンスタイン株式会社 www.alliancebernstein.co.jp

・投資顧問会社
（マザーファンド、AコースおよびCコースの運用の一部の委託先）

アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー、アライアンス・バーンスタイン・リミテッド、アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア・リミテッド、アライアンス・バーンスタイン・香港・リミテッド

・受託会社
（ファンドの財産の保管及び管理を行う者）

三井住友信託銀行株式会社
（再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）

販売会社

販売会社は、受益権の募集・販売の取扱い、一部解約の実行の請求の受け付け、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、償還金、一部解約金の支払いの取扱い等を行います。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	●			
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	●			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	●	●	●	●
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	●		●	●
FFG証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第5号	●			●
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第6号	●			
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第43号	●			
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	●			
株式会社十八銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第2号	●			
十六TT証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第188号	●			
株式会社親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第3号	●			
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	●			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	●		●	●
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	●			
株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	●			
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	●		●	
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	●			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	●	●	●	●
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	●		●	
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	●		●	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	●			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	●			
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	●		●	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	●	●	●	
株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)(インターネットレードのみ)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	●		●	●
株式会社三菱UFJ銀行 (インターネット専用)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	●		●	●
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	●	●	●	●
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	●	●		
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	●			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	●	●	●	●
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	●			

※取次販売会社も含まれます。

※販売会社によっては、一部コースのみのお取扱いとなります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

(50音順)

■設定・運用は

アライアンス・バーンスタイン株式会社

アライアンス・バーンスタイン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号

【加入協会】一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／日本証券業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会